

(様式1)

「絆の作り手育成プログラム研究指定校」実績報告書（1年次）

1 学校名等

学 校 名	宮津市立 府中小学校							校長名	糸井政文	
所 在 地	〒629-2232 京都府宮津市字中野468 電話 0772-27-0027 0772-27-1260									
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合 計	教職員数	
学 級 数	1	1	1	1	1	1	2	8	15 ※校長・教頭を含む	
児 童 数	13	13	8	14	12	12	6	78		
連 携 先 (文化財所有者等)	籠神社・眞名井神社・成相寺・大谷寺・ 京都府立丹後郷土資料館・京都府丹後土木事務所									

2 研究校の概要

1 研究主題

ふるさとみやづを愛し、自ら学び、豊かに伝え合う児童の育成  
～地域に貢献することを通して、人生をよりよく生きる力を付ける～

2 研究仮説

- (1)天橋立とそこに生きる人々の生活・産業から学び、歴史と伝統が息づく文化的景観を保護する取組を行うことで、天橋立のすばらしさを再発見し、児童の地域への愛を深めることができるのではないか。
- (2)課題解決型学習を通して魅力ある地域づくりに貢献させることで、児童の自己肯定感を高め、積極的に挑戦していく意欲を高めるとともに、思考力・判断力・表現力を高めることができるのではないか。

府中小学校児童は、素直で明るく与えられた課題に対しては真面目に取り組もうとする。異年齢のつながりも強く、高学年が低学年の面倒を見たり、優しく指導したりすることが日常の活動の中に見られる。児童は登下校の見守りを含め地域の方に温かく見守られているため、地域の方との交流も普段からしっかりできている。しかし、積極的に自ら課題を見つけて自分なりの答えを考えることや自分から挑戦する意欲が弱い。

そこで、本研究では「課題解決型学習」の手法を利用し、設定した課題をグループ等での主体的、対話的で深い学びを通して解決していく中で、思考力・判断力・表現力を付けていきたい。また、従来から「ふるさとみやづ学」に係って連携してきた団体と天橋立を中心とした府中の文化財及び文化的景観の「持続可能な保存」について考えることで学びを深め、さらに課題に対する解決策を実行・発信していくことにより、自ら学び、豊かに伝え合う力も付けていきたい。

府中地区の方との連携を図りながら、児童が自分のより良い生き方を探れるようにするとともに、認知能力と非認知能力を一体的に育成することを研究の目的としている。

## 府中に生きる私たちが、今、できること ～天橋立を中心とした府中の文化的景観について～

### 天橋立の文化的景観を守ろう！

5年  
天橋立と府中の産業

6年  
天橋立と府中の歴史

3年  
籠神社と天橋立の民話

4年  
天橋立と環境問題

1年  
天橋立の自然

2年  
天橋立と生きる人



#### <学校全体>

- 天橋立とそこに生きる人々の生活・産業から学び、歴史と伝統が息づく文化的景観を保護する取組を行うことで、天橋立のすばらしさを再発見できるようにし、児童の地域への誇りをもたせる。
- 課題解決型学習を通して魅力ある地域づくりに貢献させることで、児童の自己肯定感を高め、積極的に挑戦していく意欲を高めるとともに、思考力・判断力・表現力を高める。

#### <1年生>

- ・天橋立の自然の良さに気付く（気付き）
  - ケーブルに乗って傘松公園へ行き、天橋立の美しさに気付く。
  - 石や砂で遊んだり、松ぼっくり拾いをしたりして、天橋立の自然を楽しむ。

#### <2年生>

- ・天橋立とそこで生きる人々の良さに気付く（気付き）
  - ケーブルや遊覧船で働く人、お店で働く人にインタビューをする。
  - インタビューの内容から府中の人の良さに気付く。

#### <3年生>

- ・天橋立とそこで生きる人々の仕事や文化を見つめる（発見）
  - 籠神社と天橋立の民話について調べる中で校区の特色について発見する。
  - 民話について調べる中で、地域貢献できることを見つけて実行する。

#### <4年生>

- ・天橋立の環境について調べ、良さと課題を発見する（発見）（継承）
  - 天橋立の松や海などの環境について調べる。
  - どうすれば天橋立の環境（クロ松・海等）を守ることができるのか考え、解決策を探る。

#### <5年生>

- ・天橋立を中心とする産業の課題について解決策を考え、実行する（継承）
  - 農業・漁業・観光業について調べ、府中の産業について理解する。
  - 産業の課題について知り、その課題について解決策を考え、実行する。

#### <6年生>

- ・天橋立の文化的景観を生かして生きる未来について考え、実行する（発展）
  - 天橋立を中心とした府中の魅力ある地域づくりについて考える。
  - 古い歴史と伝統文化が残る府中地区の課題を発見し、解決策を考え、実行する。

## 研究実践1年

### 生活科「自然いっぱい天橋立」

傘松公園や阿蘇海から天橋立を見て、美しさを感じました。松ぼっくりを拾ってプレゼントを作り、家族に天橋立の自然のすばらしさを自分の言葉で伝えました。



## 研究実践2年

### 生活科「すてき」大発見！！

町探検に出かけ、天橋立に関する仕事の見学をしたり、インタビューをしたりして人々の思いや願いを知りました。町探検でお世話になった方を招待して「町のすてき発表会」を行いました。



## 研究実践3年

### 総合 府中の「宝」探し～府中は宝箱～

天橋立府中観光会会長はお話の中で、「府中は宝箱」と言われました。どんな宝があるか調べた中で、天橋立にまつわる伝説を多くの方に知ってもらうために紙芝居にしました。

籠神社の狛犬のお話



天のかけ橋



## 研究実践4年

### 総合「天橋立を守ろう！」

丹後土木事務所の方からどうやって天橋立を守っているかを聞き、松葉の回収ならできると考えました。栄養の少ない土にすることを大切に思いながら、14人で45袋回収しました。更に、ポスターを作り、ごみのポイ捨て禁止を訴えました。



## 研究実践5年

### 総合 府中の水産業を守ろう！

「雪舟 天橋立図」「成相寺参詣曼荼羅」には、漁師の姿が生き生きと描かれています。しかし、今、後継者不足で漁業は衰退の一途をたどっており、このままでは、伝統も溝尻の舟屋の景観もなくなってしまうかもしれないと聞きました。

そこで、「魚の魅力」を伝えて、漁師さんを応援しようと5年生が立ち上がりました。若手の漁師さんや海洋高校生にもヒントをもらいながら考え、話し合い、シールで魚の魅力を伝えました。



## 研究実践6年

### 総合 天橋立の文化的景観を未来へ！

「雪舟 天橋立図」には、天橋立とともに「国分寺」「成相寺」「大谷寺」「籠神社」など数多くの寺社が描かれています。天橋立は古くから多くの人々が往来する景勝地として、参詣・観光の拠点となってきました。平成26年3月には重要文化的景観にも選定されていますが、この景観は、自然と歴史的成り立ちの中で人々の生活とともに培われてきたものです。

そこで、天橋立の文化的景観を再発見し、魅力ある府中にしていくために、6年生が府中の歴史パンフレットを作り、地域の方に紹介しました。



# 単元シート

気持ちを高める

思考の質を高める

活動の質を高める

5年

総合的な  
学習の時間

ミッション(児童が目指すこと・目的)

府中の水産業を守ろう!

～阿蘇海・宮津湾の魚の魅力を伝えよう!～

成果物(どんな内容をごん方法で)

\*漁師さんやお店、海洋高校生に協力していただき、おいしさや魅力をまとめる。  
\*府中(宮津)の魚のおいしさや魅力を伝えるものを作る。  
\*地域・保護者に発信する発表会を開く。

実態

○4年生までの学習の中で、地域の人々とのふれあいや体験活動を経験する中で、自分たちの住む府中の良さを感じている。しかし、府中を支えてきた人々の工夫や努力には気づいていない。

○地域の人々にお世話になっていることは感じているが、自分たちが地域に何ができるのか考えて活動しようとする力は、まだ身に付いていない。

○一人一人が自分の考えを持ち、主体的に話し合う中で、考えを深める経験が少ない。

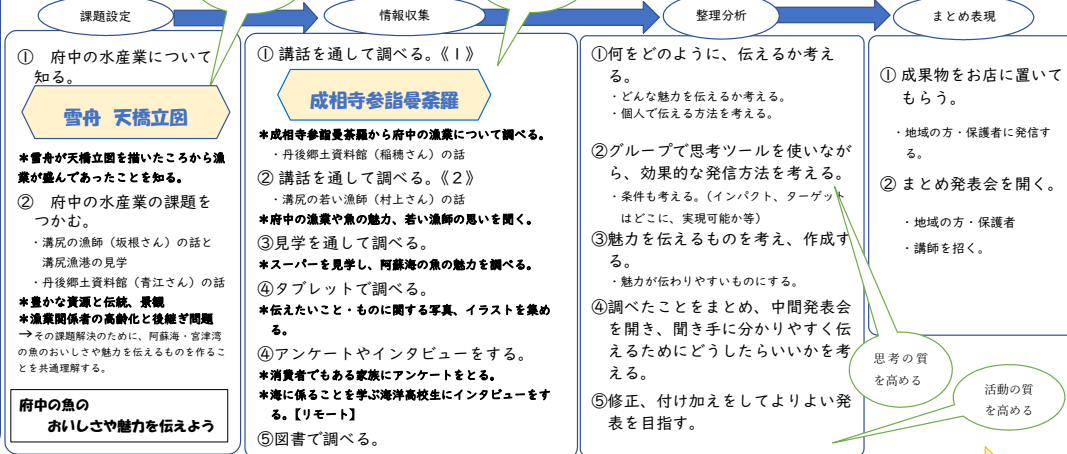
○魚を苦手としている児童が多い。

指導方法

探究の質を高めるために ①気持ちを高める ②活動の質を高める ③思考の質を高める  
\*毎回の振り返りを大切に。スパイラルで。

付けたい力

主体的に考え、地域に貢献する力  
資料から視点をもち情報を読み取り、まとめる力  
相手に分かりやすく伝える力



図書館教育との関わり



## 4 今年度の研究の成果と検証

### (1) 学年に応じた課題解決型学習に取り組むことができ、探求意識がはぐくまれつつある。

宮津市の「ふるさとみやづ学」と絡めて学年に応じた課題解決型学習を計画・実施でき、意欲的に調べようとする児童が増えた。

### (2) 校区に存在する多くの文化財を調べることができ、その価値や魅力を再発見できた。

学年に応じて「天橋立」「籠神社」「天橋立図」「成相寺参詣曼荼羅」「国分寺」「大谷寺」「安国寺遺跡」等多くの文化財を調べることを通して、魅力を再発見することができ、公民館行事に参加する児童が増えた。

### (3) 文化財に関係する人たちと実際につながり、地域に対する愛情が深まった。

天橋立と共に生き、生活している人たちから生の声を聴くことができ、児童の成長につながった。特に、自分の生活を振り返ることができた。

### (4) 「府中に生きる自分が今、できること」を考え、実行することができた。

高学年については、自分ができていることを考え、実行した。グループ等の話し合いを大切にしたので、自分の意見や考えを自信をもってしっかり伝えられるようになってきた。

## 5 今年度の課題

### (1) さらに対話的な学びを深め、ことばの力の向上を図る必要がある。

進んでインタビューするなど、コミュニケーションを主体的に行う姿は見られるようになった。しかし、相手意識が弱く、自分たちの伝えたいことがうまく伝わらないことがあるので改善していきたい。

### (2) 地域貢献を目指して体験活動を充実し、社会参画意識を高める。

地域に向けて自分たちのできることを考え実施したが、地域貢献というところまでは至らなかった。活動を充実させ、社会参画意識を高めたい。また、強く達成感を感じる取組にしたい。

## 6 事業終了後の研究構想

○ICTの効果的な利活用を図り、より実践的な計画・学習とする。

○地域への発信を通して、地域づくりに貢献していることを実感し、達成感を得る取組とする。

○地域の文化財を通して、6年生が課題解決型学習を進めて地域貢献を行い、地域との絆を深める。